

サンポートホール高松友の会 「さんぽーとCLUB」からのお知らせ

会員期間 1年間 **年会費** 1,000円

※会員の期間は、入会日から翌年同日の属する前月の末日までとします。
会員資格を更新したときの会員期間は、更新前の会員期間満了日までの期間および、その更新の日の翌月初日から1年間とします。

特典 ①②は、サンポートホール高松プレイガイドでのご購入に限ります

①チケットに関する特典

- 財団が指定する公演について、一般発売に先行して予約・購入することができます。
- 財団が指定する公演について、財団が定める会員価格で購入することができます。
※会員価格で購入できるのは、会員お1人5枚までです。6枚目からは一般価格になります。

②入会・更新時の特典

- 入会(再入会含む)・更新ごとに、公演のチケット割引券(500円)1枚を差し上げます。
チケット割引券はサンポートホール高松プレイガイドで販売する、財団が指定する公演チケットを購入するときに利用できます。
※ご利用の際は会員証を提示のうえ割引券をお渡しください。※割引券は再発行できません。※割引券は他人への譲渡および換金はできません。

③その他の特典

- 財団が発行する催物案内・情報紙等を定期的にお届けします。
- 財団の主催事業で出演されたアーティストの記念品等を抽選でプレゼントします。
- その他、財団が企画する会員限定の特典サービス(近隣店舗等での優待割引など)が受けられます。



入会手続き

●ご来館によるお申し込み

入会申込書に必要事項をご記入の上、年会費を添えて、サンポートホール高松プレイガイドにお申し込みください。

●現金書留によるお申し込み

事前にお電話でご連絡の上、入会申込書に必要事項をご記入の上、年会費を添えて、下記の申し込み先へ現金書留で郵送してください。
※入会申込書は、ホームページからダウンロードできます。

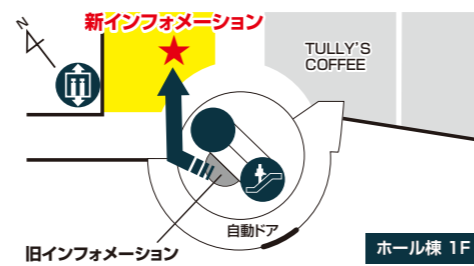
◆お問い合わせ・お申し込み先

公益財団法人高松市文化芸術財団内
サンポートホール高松友の会「さんぽーとCLUB」事務局
〒760-0019 香川県高松市サンポート2番1号
TEL 087-825-5010 <http://www.sunport-hall.jp/>

総合インフォメーション・プレイガイドの 場所が変わりました

受付時間 9:00~18:30

TEL 087-825-5008



ホール・ガイダンス

施設空き情報の確認

サンポートホール高松「施設予約管理システム」で、2年先までの空き情報がご覧いただけます

サンポート 空き情報

<http://www.reserve-sunport-hall.jp/bunyusr/usr>

- 使用日の1年前の月の初日から2週間前まで、会議室、和室、リハーサル室、練習室の仮予約ができます。



受付窓口からのお知らせ

練習室は、1時間200円からとお安くご利用できます。なお、平日は比較的空きがございます。

受付時間 9:00~17:00(利用者登録・施設使用申請・お支払)

詳しくは財団ホームページ、またはお電話で。

<http://www.sunport-hall.jp/> ☎ 087-825-5000

vol. **38** サンポートホール通信
[季刊]チャ・ラ・ラ
2013年春号
<http://www.sunport-hall.jp/>

- こどもの日のこどものためのコンサート
- 瀬戸フィル ティータイムコンサート
- レポート ISAMU
- レポート 演劇どつとこむ
- お客さまアンケートより

4 April	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
5 May	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
6 June	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	

瀬戸フィル…瀬戸フィル ティータイムコンサート
 こども…こどもの日のこどものためのコンサート
 ・先行…友の会 先行発売日
 シアン…シアンの家(8/18公演)
 ISAMU…ISAMU(8/30公演)
 ・一般…一般発売日

こどもの日の こどものための コンサート♪

日時: 2013年5月5日(日・祝)
14:00開演(13:30開場)
会場: 第2小ホール
入場無料 **全席自由**
0歳から入場できます。
ベビーカーはロビーでお預かりします。
満席の場合は入場をお断りすることがあります。
(座席数 300席)

ぽかぽか陽気が気持ちいい今日この頃、今年もサンポートホール高松の春の風物詩「こどもの日のこどものためのコンサート」がやってきました。主役のこどもたちはもちろん、おじいちゃんおばあちゃん、お父さんお母さんも、みんなでこどもの日をお祝いしましょう♪

コンサートの5つのポイント

親子で歌いつぎう日本の歌百選

コンサートには百選の曲がいっぱい出てくるよ。家族で歌いたい歌、こどもや孫に歌ってあげたい歌、日本の文化として残したい歌としてたくさんの応募の中から選ばれた101曲。小さなこどもが大好きな歌や、大人になってあらためて心に響く名曲がたくさんあるよ。

家族みんなで歌合戦

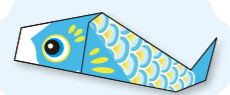
毎年たくさんのファミリーが参加。はじめてのステージ、上手に歌えるかな? 元気いっぱいの歌合戦をみんなで応援しよう!



こいのぼりをつくろう

ロビーには、おりがみコーナーがあるよ! 会場で渡されるこいのぼりと合体して、マイこいのぼりをつくろう。おりがみはホームページからもダウンロードできるよ。

<http://www.sunport-hall.jp/>



都合により内容が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

会場いっぱいみんなでお歌おう

今年は、百選の中の頭文字が「し」から「そ」の曲をピックアップ。知っている曲は大きな声で歌おう。知らない曲は、歌詞を見ながら覚えちゃおう! 最後はステージにあがってみんなで一緒に歌おうね。



アンサンブル

今年は5種類の楽器が登場するよ。どれがどんな音かわかるかな? 素敵なハーモニーを楽しみにしてね。

ヴァイオリン … 青柳 妃姫 ファゴット …… 滝口 善之
… 和田 絵里子 ピアノ …… 中村 久美子
チェロ …… 荒木 誠一 ソプラノ …… 石井 真紀
フルート …… 都村 慶子

プログラム

- オープニング アンサンブル演奏
一般参加のファミリーによる楽しいステージ
- 家族みんなで歌合戦
- 会場いっぱいみんなでお歌おう
こいのぼり・早春賦・叱られて・スキー
すいすいすころばし・ぞうさん・しゃぼん玉
四季の歌・時代・幸せなら手をたたこう
世界に一つだけの花
- エンディング 背くらべ



演奏

公益社団法人
瀬戸フィルハーモニー交響楽団

2001年11月、地域の音楽文化の活性化に寄与することが目的の特定非営利活動法人として設立。目的をより発展させるために社会の皆様からの支援をより一層得るために、2009年4月一般社団法人、2010年1月公益社団法人へ移行。一方的な演奏ではなく、様々な形で音楽との身近なふれあいを提案し、公民館や自治体、企業などへのアンサンブルデリバリーも積極的に行っている。特に、小・中学校を訪問しての音楽鑑賞教室では、指揮者体験や吹奏楽部などとの共演を実施。音楽の楽しさを体感できる企画を盛り込み、音楽人口の底辺拡大・充実に取り組んでいる。また、毎年恒例となった愛媛県新居浜市の市民コンサート、小豆島町での瀬戸内デリバリーコンサートなど、四国のプロオーケストラとして地盤を築きつつある。公益社団法人瀬戸フィルハーモニー交響楽団は「正社員」で構成。また、後援会組織として「瀬戸フィル後援会メイト」がある。

《高松市市民文化祭アーツフェスタたかまつ2013参加事業》

瀬戸フィル ティータイムコンサート

日時: 2013年6月22日(土) 15:00開演(14:30開場)
6月23日(日) 14:00開演(13:30開場)

会場: 第2小ホール
チケット: 一般 2,500円 友の会 2,200円 **全席自由**
*1ドリンク付き(コーヒーか紅茶が選べます)

発売日: 4月19日(金)

【指揮】田尻 真高
【ソプラノ】永崎 京子
【テノール】竹内 俊介
【演奏】瀬戸フィルハーモニー交響楽団

瀬戸フィルハーモニー交響楽団 オフィシャルサイト
<http://www.setophil.or.jp/>



“瀬戸フィル”の愛称で親しまれている、瀬戸フィルハーモニー交響楽団。ホール公演だけでなく、学校公演やアンサンブルデリバリーなど身近な場所へ音楽を届け、地元プロオーケストラとして地域に根差した積極的な活動を展開しています。

『瀬戸フィル ティータイムコンサート』は、気軽なリラックスタイムをお届けするアンサンブルコンサートで、これまで2009年、2012年に開催し、いずれもご来場のお客様から大好評をいただきました。

司会者が案内役となり、指揮者や演奏家のおしゃべりを挟みながら、くつろぎのひとときをお客様とともに過ごすコンサートスタイル。お互いの距離が近く、奏でられる音色とゆたかな響きにつつまれて贅沢な時間が流れます。会場となるホールもいつもとはガラッと雰囲気を変えてお迎えます。

昼下がりのティータイムにふさわしく、CMなどでなじみのポピュラーなクラシックをはじめ、映画音楽、ミュージカル音楽などを盛り込み、声楽家のゲストソリストも登場。

サンポートに爽やかな初夏の風が吹く頃、サンポートホール高松へ出かけてみませんか?



2012年「瀬戸フィル ティータイムコンサート」より

指揮
田尻 真高
Tajiri Shinsuke



1984年、岐阜県高山市出身。東京藝術大学音楽学部指揮科卒業。2006年および2007年、石川県金沢市において石川フィルハーモニー交響楽団、石川県合唱協会によるベートーヴェンの「第九交響曲」を指揮。東京国際フォーラム「のだめカンタービレ杯」音楽コンクール〈オーケストラ部門〉に有志オーケストラ「たじオケ。」で参加し最優秀賞を受賞。指揮者として審査員特別賞も合わせて受賞した。2007年、東京国際フォーラムで行われた、ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン「熱狂の日」音楽祭、およびハルモニア・イヤーエンドコンサートに「たじオケ。」で出演、好評を博す。2008年3月群馬ジュニアオーケストラヨーロッパツアーに同行、スマナホール(ブラハ)でベートーヴェン「第9交響曲」終楽章を指揮。東京藝術大学において2007年度の安宅賞を受賞。指揮を小林研一郎氏、山田和樹氏に師事。



ISAMU



【脚本】倉持 裕 【上演台本・演出】宮本 亜門
【出演】瀬川 亮、大森 博史、ヨシダ 朝、森 ほさち、神農 直隆、岡田 あがさ、植田 真介 【企画製作】株式会社パルコ

2013年8月30日(金)、サンポートホール高松で「ISAMU」を上演します。この公演は、高松市牟礼町にアトリエを構えていた世界的彫刻家のイサム・ノグチさんの思想を、演出家 宮本亜門さんが描くもので、2013年1月、プレ公演を2日間にわたり上演しました。プレ公演という形で制作過程の一部を公開する新たな試みは、観客の皆さんにどう映ったのでしょうか。

2013

1/17
(木)

高松入り

前日の航空機の緊急着陸による高松空港閉鎖の影響で、急遽、スタッフさんは新幹線で高松入り。この日から舞台セットの仕込みが始まりました。

1/20
(日)

舞台稽古スタート

演出家、出演者7名が高松入り。いよいよホールでの舞台稽古スタートです。

1/21
(月)

10:30~11:00 「高松市長表敬訪問」 11:30~12:10 「プレス会見」

高松市役所で大西市長と面談。ホールに戻って、新聞社や放送局など、大勢の取材陣に向けて、「なぜイサム・ノグチさんを題材にしたのか」を語る宮本亜門さん。質疑応答では、予定時間を超えても話しは尽きません…。香川が持っているアートへの創造性に触れながら、将来、定期的に香川で創った演劇を世界に発信したいと、抱負を語りました。その後、舞台稽古の様子をマスコミの皆さんに公開しました。



1/24
(木)

19:00~20:30 「ISAMU プレ公演」

平日の夜にもかかわらず、両日とも客席はほぼ満員。晩年のイサムさんが自分の墓を作ろうと、万成(まんなり)石の前に、自分の過去を振り返ります。これまで出会った人たちの回想や夢のシーンなど、複数の場面が同時進行で描かれます。自らを地球人と位置付け、大きな視点で世界を見ていたイサムさんの思想は、人間がどう生きるべきかという根源的な問いに向かっていきます。



20:30~21:00 「アフタートーク」

終演後、宮本亜門さん自身が舞台に登場。イサムさんの魂が存在する高松で公演できる興奮そのままに、イサムさんとの出会いから、イサムさんへの想いを溢れるように語りました。客席には、実際にイサムさんに会ったことのある観客の方もいて、高松ならではのアフタートークとなりました。



準備に3年。2011年11月のリーディング公演、この2013年1月のプレ公演。そして、夏の本公演では、再度、脚本や配役が練り直されます。瀬戸内国際芸術祭2013関連事業として上演する本公演では、「ISAMU」がプレ公演から更に進化し、どんな作品に育っているのか、ぜひご期待ください。



四国学院大学協働事業

演劇どっどこま

【日時】2012年10月~2013年2月 各日19:00~21:00 【会場】第1リハーサル室



1月12日



2月16日

毎回ドキドキ新たな発見

8月の申し込み開始から、わずか10日で定員に達した「演劇どっどこま」には、10代から60代の男女20名が集まりました。それでは、多彩な講師陣による、楽しいワークショップの様子をご紹介します。

2012

10/20
(土)

小池 竹見(劇作家・演出家) 「みる・きく・いる」の演技

ワークショップ初日のこの日は、「非日常のルール」をテーマに講座が進行。遊び慣れたゲームでも、ルールを変更すると全員が四苦八苦。講座後半には、ステージと客席を設定し、お芝居をしました。まず、客席の受講生がワンフレーズのセリフを紙にメモ。ステージの受講生は、講師の指示で一枚紙をめくり、セリフを読み上げ即興のお芝居をします。紙には何が書かれているのか、次に何が出てくるのか、誰にも分かりません。脈絡のないセリフでお芝居を進めていくのは、至難の業です。しかし時間が経つにつれ、絶妙な切り返しで進められていく様子に、その場にいる誰もがワクワクしました。

11/10
(土)

安田 雅弘(演出家) ヒントはすべて日常に

2回目のこの日は、「日常を丁寧に観察する」をテーマに講座が進行。朝履いた通りに靴下を履く、洋服を着るなどの動作を再現しましたが、無意識の行動を、意識的に再現する作業は、思いのほか難しかったようです。講座終盤、講師も驚く出来事が起きました。ある受講生がどんな文章でも固定の「行」で読めるというのです。早速「パ行」で読み始めると、硬かった文章が躍動感を持って走り出し、全員大爆笑。初めは姉妹間の遊びだったのですが、今では演劇の基礎練習に役立っているようで、誰もが、何気ない日常の延長に演劇があるのだという面白さを実感することができました。

12/1
(土)

柴 幸男(劇作家・演出家) モシモシ自分

3回目のこの日は、「自分を演じる」をテーマに講座が進行。まず短時間で自分の話をするのですが、すでに自分を演じることが始まっています。次に家からワークショップ会場までどうやって来たのか、昨日何をしたのかを言葉と動きで何度も再現。しかし繰り返すうちに、思い出すことに慣れ、最初の感情や何気ない草草がぼろぼろと抜けてしまいます。そこに気を付けて、講座後半には脚本なしでお芝居に挑戦したのですが、人や場面が増えると、難しさは倍増。この通常とは異なる体験を通して、常に広い視野を持ち全体の状況を把握すること、最初の細やかな感覚を大切にすることを学びました。

2013

1/12
(土)

畑澤 聖悟(劇作家・演出家) たかがキノレンされどキノレン

4回目のこの日は「演劇的コミュニケーションの楽しさ」をテーマに講座が進行。対面しない自己紹介やじゃんけん、変形ピンポンゲームなどをし、全体でコミュニケーションが取れると、最終ステップへ。体の中で声が一番響く場所と高さを探し、対面した相手に声を届ける発声練習をしましたが、一番声が届く言葉は、なんと『いらっしゃいませ』なんだそうです。最後に、声を届けるコツを掴んだところで、相手との距離を離していくのですが、うっかり体の中で声を響かせることを忘れてしまいます。このキノレンでは、意識し続けることの難しさと、訓練の大切さを痛感していました。

2/16
(土)

岩城 保(照明家) 光マジックのウソとホント

最終日のこの日は、「舞台機材の特徴を理解する」をテーマに講座が進行。まず、本物の舞台照明で構造を学び、次に、懐中電灯、虫眼鏡・黒画用紙・割り箸・テープを使い、手作りの舞台照明機材を作りました。最後に、手作りの舞台照明機材・実際に舞台上で使用するカラーフィルター・黒と白の画用紙などを使い、グループごとにミニチュア舞台上に照明を作りました。思い描いた色を作り出すのは簡単だと思っていたのですが、想像以上に難しく、気付けばカラーフィルターとにらめっこ。効果的な演出を生み出すためには、機材を熟知する必要があることを知り、光マジックの虜になりました。



お客さまアンケートより

Audience Voices



2012 10/27 TSUKEMEN

- ★演奏はもちろんのこと曲もすばらしかったです！特に、オリジナル曲「息吹」。涙がとまりませんでした！（W.Y.さん）
- ★TSUKEMENの四国上陸とても楽しみにしていました。良い席で参加でき、ホールのお雰囲気も良く、良かったです。照明がまたステキでした。（U.H.さん）
- ★男性ピアノは初めてで、力強くてステキでした。ヴァイオリンも、ステキでした。オープニングは、背景に草原がみえました。（K.K.さん）



2013 1/24・25 ISAMU プレ公演

- ★本格的な演劇を初めて観た。プレ公演という、制作途中の演出家の試行錯誤の話も聴け、それがあって、より“生”の“今”を生きる人、自分という感覚が持てた。エネルギーに感銘。（O.A.さん）
- ★以前テレビで宮本亜門さんの特集を観て、一度舞台を見たいと思っていたら、まさかの香川公演。イサムさんの庭園にも興味があり、まさか一緒に体験できると思っていなかったので、最初から最後まで感動しっぱなしでした。私も創ることに興味があるので自信にも繋がりました。舞台がこんなに面白いと思いませんでした。（O.M.さん）
- ★時代を飛び跳ねながらイサム・ノグチの精神世界に入り込めた。小ホールということで、臨場感を近くでより楽しく感じる。素晴らしい。ガム(子ども)の曇らない無邪気なパワーとイサム・ノグチの最終的に求めた理想郷のシンクロで、すがすがしい気分観終えることができました。（M.Y.さん）



2012 11/29 二兎社公演 こんばんは、父さん

- ★最後、お父さんの「好きなことさせてやればよかったな」というセリフにじんときずきます。（U.S.さん）
- ★2階席でしたが、十分に表情の伝わるすてきな芝居でした。観に来られてラッキーでした。とっても面白く、許せない父親像、永井さんさすがでした。（S.M.さん）
- ★平さんのダメダメさ、蔵之介さんの素直さ、淳平くんの“今”の若者のすがた…どれも生きていて、はあ〜とため息ものでした。ありがとうございました!!（K.S.さん）



2013 2/11 高校演劇フェスティバル 青森県立青森中央高等学校 もしイタ もし高校野球部の女子マネージャーが 青森の「イタコ」を呼んだら

- ★いっぱい笑っていっぱい泣いた60分でした。とてもよい舞台を観せていただきました。ありがとうございます。こちらは震災の被害も遠く、“震災”と聞くと暗いイメージしかありませんでしたが、そんな中でも元気を振り絞って生活されているんだなあ胸にせまってくるものがありました。本当に素晴らしかったです。（T.Y.さん）
- ★本当に素晴らしかったです！衣装・音響・舞台装置もない中、そのようなものを全て身体で表現し、ぶれない、最後まで切れない演技がとても素晴らしかったです。本当に大好きです!!
- ★すごい!! 面白い!! 感動!! の三言につける作品でした!! 一度、テレビの「青春舞台」を観せてもらったんですが、やっぱり生は一味違います!! 表情がしっかり観えて、観ているこっちも一緒に楽しくなりました! ありがとう!!



2012 12/12 野村万作・萬斎 サンポート狂言会

- ★初めて鑑賞しましたが、あまりの楽しさに引きこまれました。テレビ等で観るよりはるかに楽しかったです。間合いの取り方、所作、発声すべてに感動しました。次回も来たいです。（I.N.さん）
- ★面白かった。こんなに笑えるものかと思った。古典でも笑いのツボは一緒なんだと実感しました。（S.Y.さん）
- ★前回初めて狂言を観て、とても面白かったので、また観に来ました。言い回しが昔ことばで、はじめはわかりにくかったですが、石田さんの説明もあり、2回目で聞きなれたのか少々わからなくても面白かったです。（A.Y.さん）



2013 3/2・3 サンポートホール高松 デビューリサイタル

- ★一生懸命演奏していて、気持ちが伝わってきました。聴いてとても清々しい気持ちになりました。これからも頑張ってください。（A.S.さん）
- ★高校の同級生が出演していたので聴きにきました。1人で舞台上で演奏している友達を観て、すごく感動しました。（K.J.さん）
- ★最初はこちらまで緊張が伝わってききましたが、だんだん慣れてきてのびのびと演奏していたので、気持ちよく聴くことができました。これからの活躍が楽しみです。（O.S.さん）



2013 3/9・10 劇団東京乾電池公演 寿歌

- ★ふしぎな雰囲気でした。でも、面白く、ちょっと切なく、心に残る舞台でした。（Y.K.さん）
- ★原爆など、現実に取りそうで本当にこわいものだと身にしみて考えさせられました。これからどうやって生きていくか、いろいろ考えて行動していきたいです。（G.S.さん）
- ★かすかな記憶にある歌と、学生時代によく通った小劇場を思い出しました。（T.N.さん）

